



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association



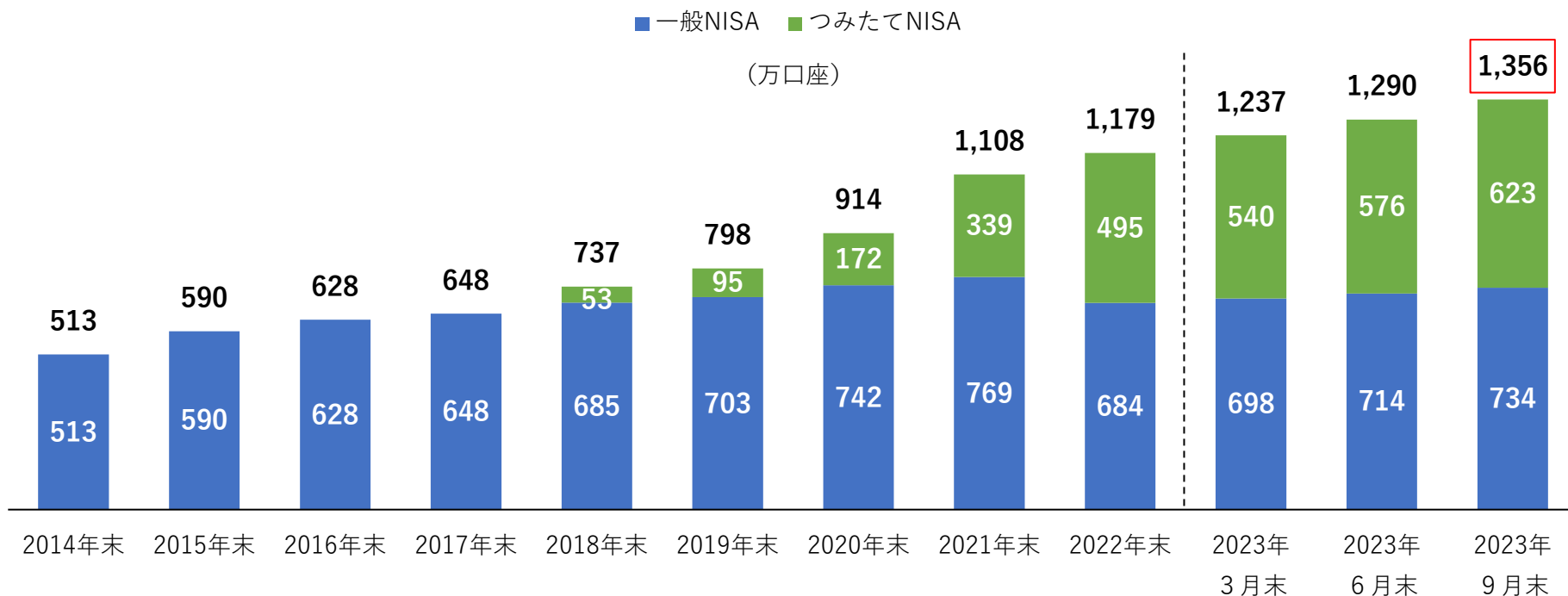
NISA口座開設・利用状況調査結果 (2023年9月30日現在) について

日本証券業協会

1. NISA総口座数の推移 【全証券会社対象】

- 2023年9月末の証券会社のNISA総口座数は1,356万口座であった。2023年中も堅調に増加しており、2022年末と比較して15.0%増加した。
- 同月末のつみたてNISA口座数は623万口座であり、2022年末の495万口座から25.7%増加した。
- 同月末の一般NISA口座数は734万口座であった。番号未告知者の残高のない勘定未設定口座が2022年1月1日をもって税法に従い廃止されたため、2022年末の一般NISA口座数は2021年末と比較して11.1%減少し、684万口座となったが、2023年9月末の一般NISA口座数は2022年末と比較して7.3%増加となった。

証券会社におけるNISA口座数の推移



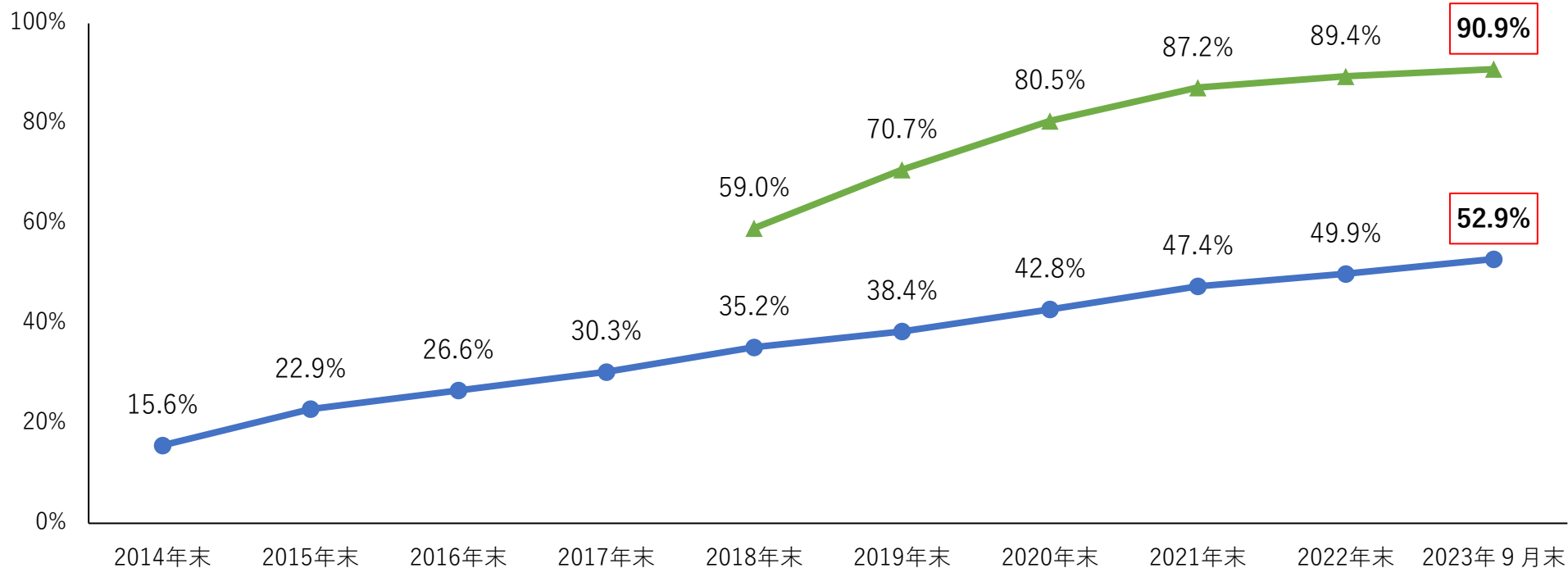
※ 端数処理（四捨五入）の関係で、総数と内訳が一致しない場合がある。
 ※ 増減割合は実数値を用いて算出しているため、端数処理されたグラフ中の数字を用いた計算結果とは合わない場合がある。
 ※ 番号未告知者の勘定未設定口座が2022年1月1日をもって廃止されたことにより、2022年の一般NISA口座数が一時的に減少している。

2. 投資未経験者の割合 【全証券会社対象】

- 2023年9月末のつみたてNISA口座開設者における投資未経験者の割合は90.9%であり、2022年末の89.4%と比較して1.5ポイント増加した。
- 2023年9月末の一般NISA口座開設者における投資未経験者の割合は52.9%であり、2022年末の49.9%と比較して3.0ポイント増加した。

投資未経験者の割合の推移

● 一般NISA ▲ つみたてNISA



※ つみたてNISAの「投資未経験者」は、報告のあった証券会社において2017年10月1日以降に証券総合口座を開設した者と、一般NISAの「投資未経験者」は、報告のあった証券会社において2013年4月1日以降に証券総合口座を開設した者としている。また、それぞれの割合は勘定設定口座数をベースに計算している。

3. NISA口座数の年代別分布 【全証券会社対象】

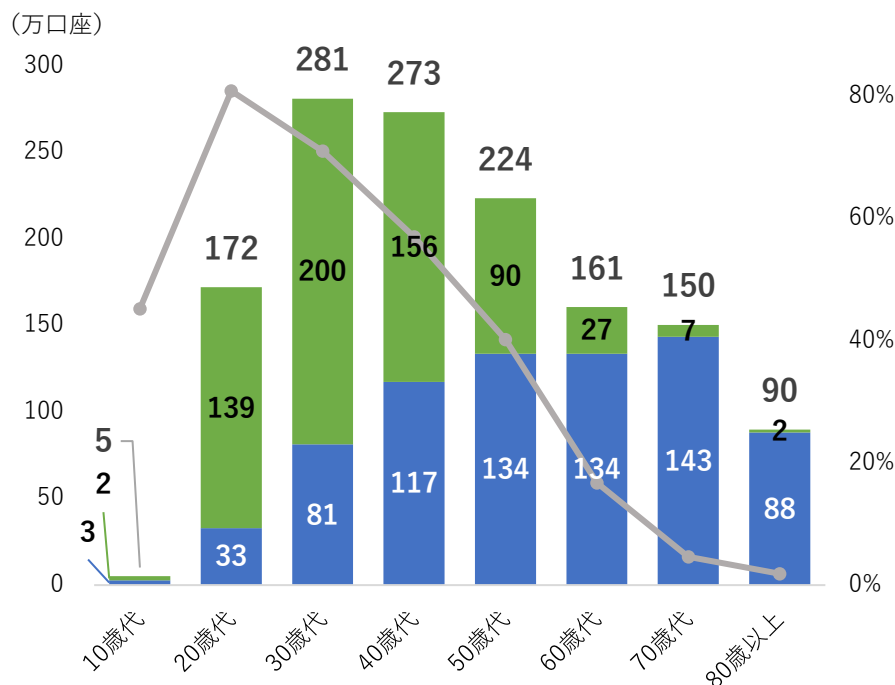


- 2023年9月末時点の年代別NISA（一般・つみたて）口座数は、特に30歳代（281万口座）と40歳代（273万口座）で多かった。
- NISA口座数のうち、つみたてNISA口座数が占める割合は若年層ほど大きい傾向にある。
- 年代別NISA（一般・つみたて）口座数は、20歳代～50歳代を中心に増加傾向にある。

年代別NISA（一般・つみたて）口座数

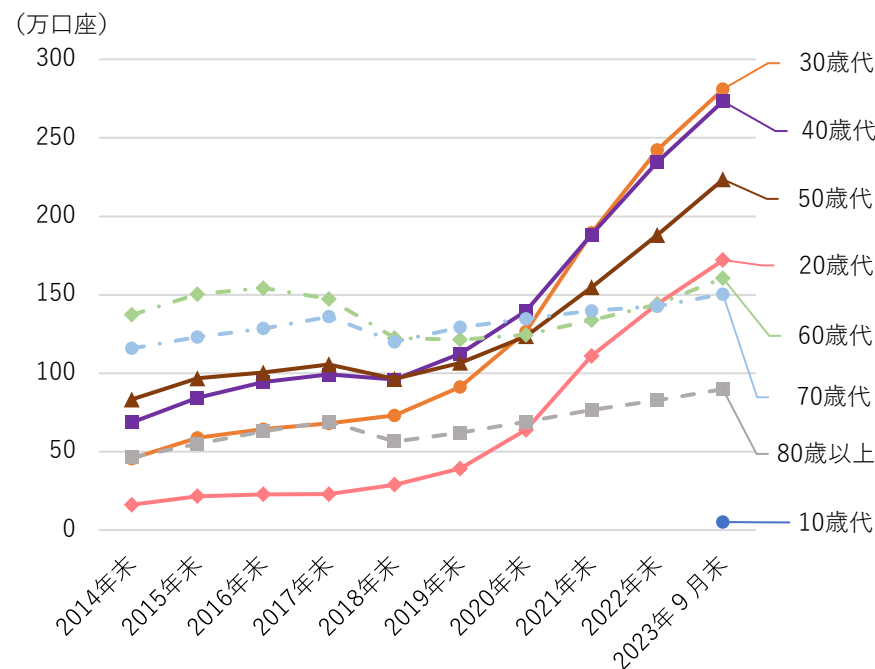
(2023年9月末時点)

■ 一般NISA ■ つみたてNISA ● つみたてNISA口座の割合



年代別NISA（一般・つみたて）口座数の推移

● 10歳代 ● 20歳代 ● 30歳代
 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代
 ○ 70歳代 ○ 80歳以上



※ 各口座数は勘定設定口座数をベースとしているため、各年代の合計が総口座数と一致しない場合がある。
 ※ 対象年齢が18歳以上（1月1日時点）に引き下げられた2023年以降の調査から、18歳、19歳のデータを集計し、「10歳代」としている。

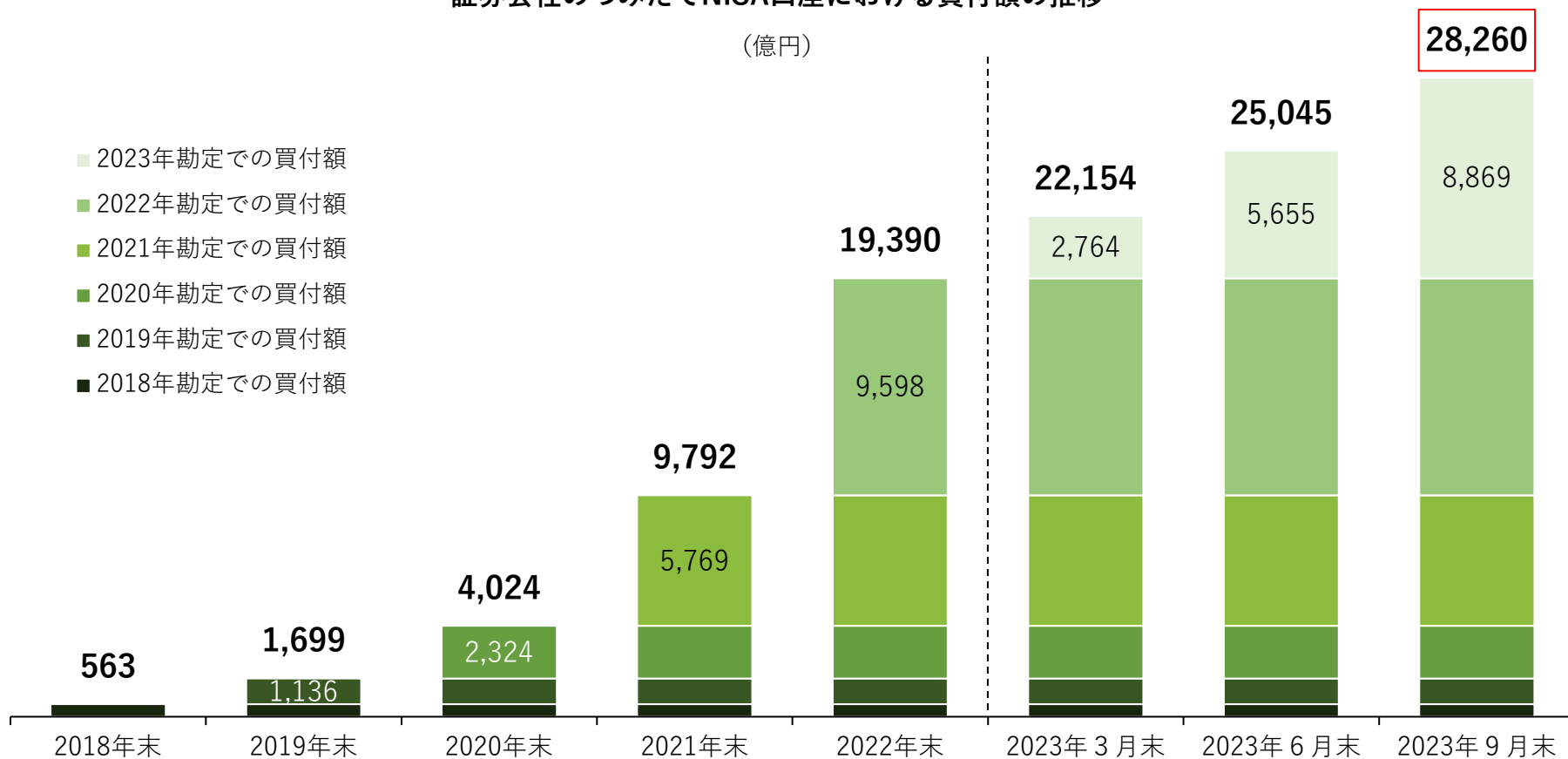
4. つみたてNISA口座での買付額の推移 【全証券会社対象】



- 2023年勘定におけるつみたてNISA口座での買付額は2023年9月末時点で8,869億円であった。
- 累計買付額は2兆8,260億円であった。2023年中も堅調に増加しており、2022年末と比較して45.7%増加した。

証券会社のつみたてNISA口座における買付額の推移

(億円)



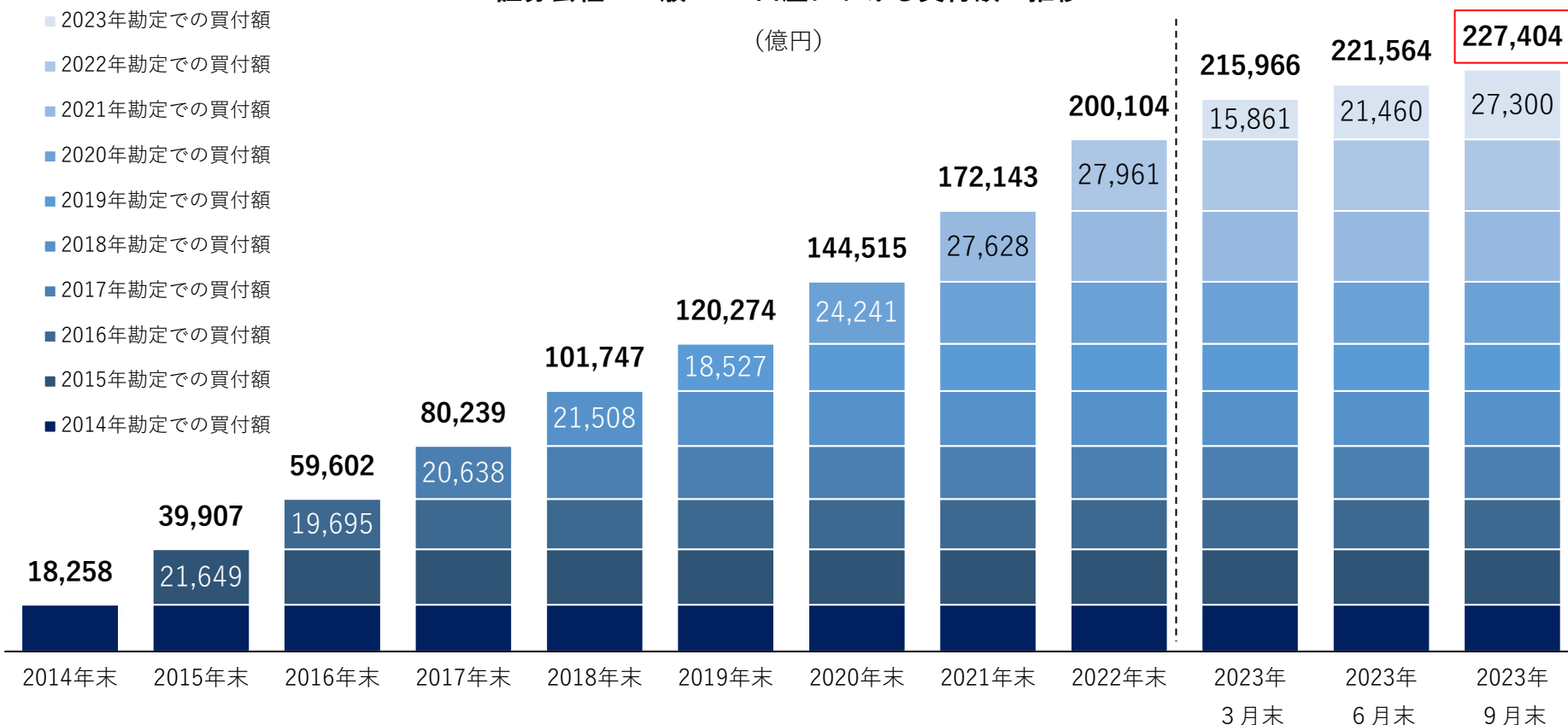
※ 各年勘定での買付額は、前年末までの累計買付額を引くことで求められる。
 ※ 端数処理（四捨五入）の関係で、総額と内訳が一致しない場合がある。
 ※ 増減割合は実数値を用いて算出しているため、端数処理されたグラフ中の数字を用いた計算結果とは合わない場合がある。

5. 一般NISA口座での買付額の推移 【全証券会社対象】



- 2023年勘定における一般NISA口座での買付額は、2023年9月末時点で2兆7,300億円であった。
- 累計買付額は22兆7,404億円であった。2023年中も堅調に増加しており、2022年末と比較して13.6%増加した。

証券会社の一般NISA口座における買付額の推移



※ 各年勘定での買付額は、前年末までの累計買付額を引くことで求められる。
 ※ 2019年9月末時点の調査以降、買付額にはロールオーバーによる受入額を含めている。
 ※ 端数処理（四捨五入）の関係で、総額と内訳が一致しない場合がある。
 ※ 増減割合は実数値を用いて算出しているため、端数処理されたグラフ中の数字を用いた計算結果とは合わない場合がある。

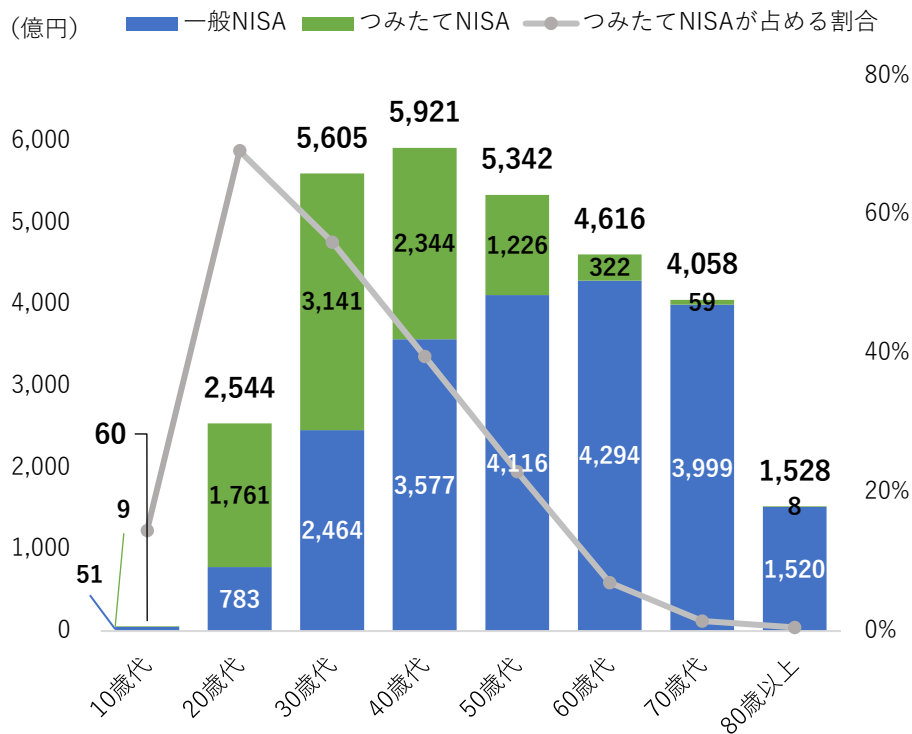
6. NISA新規買付額の年代別分布 【全証券会社対象】



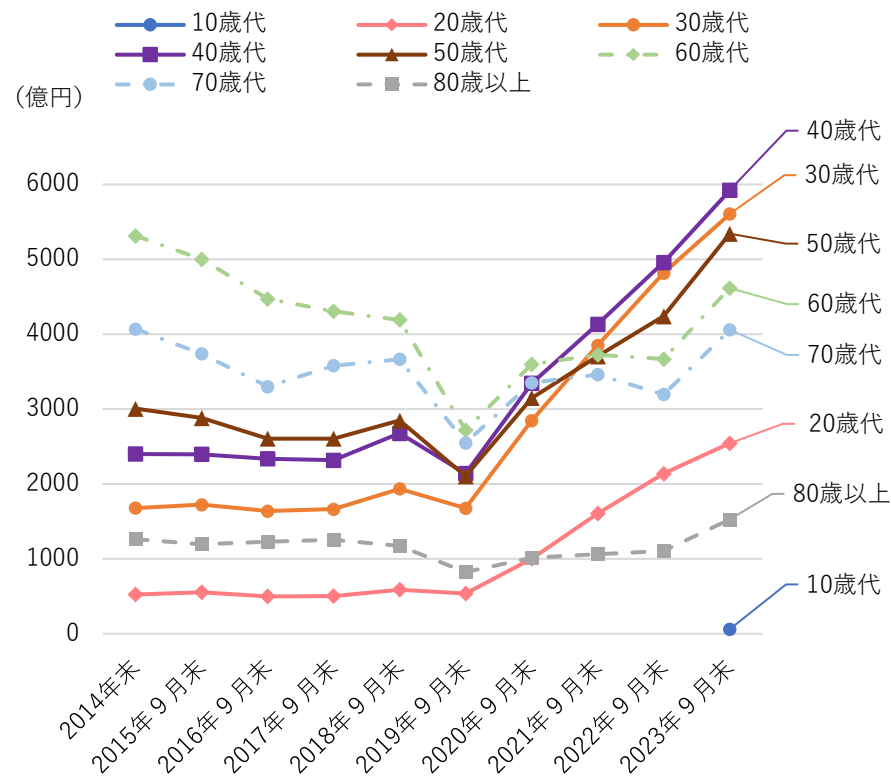
- 新規買付額のうち、つみたてNISAによる買付額が占める割合は若年層ほど大きい傾向にある。
- NISA（一般・つみたて）新規買付額は、すべての年代を通して増加傾向にあり、20歳代～50歳代において特に大きく増加している。また、60歳代～80歳代以上においても、2023年9月末のNISA（一般・つみたて）新規買付額は前年同月末と比較して大きく増加した。

年代別NISA（一般・つみたて）新規買付額

(2023年9月末時点)



年代別NISA（一般・つみたて）新規買付額の推移



※ 新規買付額にはロールオーバーによる受入額（2023年勘定分：6,495億円）を含まないため、各年代の合計が買付額と一致しない場合がある。
 ※ 2014年9月末基準日の調査は実施していない。
 ※ 対象年齢が18歳以上（1月1日時点）に引き下げられた2023年以降の調査から、18、19歳のデータを集計し、「10歳代」としている。